



#参加者募集

総合診療勉強会

大阪どまんなか 10.0

日時：6月24日（土）9：50～20：00

会場：グランフロント大阪（JR大阪駅直結）・タワーB カンファレンスルーム B05～07

対象：医学生全学年、医師（定員 100 名） ※定員を超えるとキャンセル待ちとなり、後日メール連絡

講師：

池田裕美枝（京都大学医学部付属病院産科婦人科ヘルスケア研究室 特定研究員）

岩田健太郎（神戸大学医学部付属病院 感染症内科 教授）

金沢健司（加古川中央市民病院 総合内科 主任科部長）

西澤 徹（関西医科大学総合医療センター 呼吸器膠原病内科 助教）

参加費：無料

申込み開始：4月24日（月）0：00～（下記 URL の申込みフォームより）

問合せ：大阪どまんなか Facebook ページ／ホームページ

<https://m.facebook.com/osakadomannaka/><http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/home/sotsugo/sougou-i/domannaka.html>

「日本の臨床疫学——天地開闢」

第1回日本臨床疫学会年次学術大会

「日本臨床疫学会」が、ビッグデータを活用した研究などの振興と研究人材育成を通じて推進し、現在の医療が直面する諸課題の解決に貢献することを目的に、福原俊一氏（福島県立医大 副学長）を代表理事として発足しました。第1回学術集会在、下記のように開催されます。

日時：9月30日（土）～10月1日（日）

会場：東京大学本郷キャンパス（文京区）・鉄門記念講堂ほか

大会長：康永秀生（東大大学院医学系研究科 公共健康医学専攻臨床疫学・経済学 教授）

プログラム

教育講演：「ビッグデータを用いた臨床疫学研究」「観察研究における統計手法」「個人情報保護法・倫理指針の改正は臨床疫学研究をどう変えるか」ほか

統計ハンズオンセミナー：統計解析ソフトウェア（SPSS、STATA）を実際に使いながら学ぶ（初心者対象、事前登録制、2セッション・各 50 名程度）

参加型ワークショップ：「PRO（患者が直接報告するアウトカム指標）としての QOL 尺度を活用した研究」「QALYs と費用対効果分析」「データベース研究をやってみよう」（臨床疫学専門家である若手会員による公募企画も多数）

一般演題（口演、ポスター）：口演は、原則として臨床疫学専門家のみ。ポスターはどなたでも可。特に若手医療者・研究者、また企業や自治体職員も歓迎。卓越した発表者は表彰（Young Investigator Award）

ランチョンセミナー：新規薬剤または医療技術に関して「大規模データでの効果検証や費用対効果分析などを行った最新の研究」「治験に加えて real-world での効果検証が待たれる新規薬剤の紹介」など計 4 セッション

事前登録期間：4月～8月末（下記 URL より）

問合せ：第1回年次学術大会運営事務局

✉ jsce2017@pw-co.jp<http://www.pw-co.jp/jsce2017/>